

勝山市立中学校建設基本計画（案）へのパブリックコメント結果一覧

連番	該当ページ	意見・提言（概要）	市の考え	計画（案）への反映
1	2 頁	1800名あまりの保護者からアンケートも実施した「勝山市の小中学校の望ましいあり方検討委員会」では「中学校においては、1学年2学級を続けて切る時、または1学年2学級以上であっても統廃合を望む意見がある時は、当該校区で検討委員会を設置する。そして当該校区で意見を集約した段階で、審議会を設置するかどうか検討する。」となっていますが、 ・2学級を切っていない状況で中学再編の計画に至った理由は何でしょうか？もし「望む意見がある時」を理由としたのであれば、その意見が少数の誰かの意見であっては市政として当然いけないので、少数でない数字的根拠をお教え下さい。 ・当該校区（北部、中部、南部）で検討委員会を設置はされましたでしょうか？また、そこでは3校維持、勝校併設以外の新中学校などにも協議されましたでしょうか？	平成19年の当該検討委員会の最終報告書を踏まえたご意見ですが、本報告書を踏まえ、平成21年度の地区座談会を通して、平成22年に市が中学校については1校に再編する素案を示し、その後、地区座談会や市P連をはじめ保護者等との協議・意見交換を通して、新たに再編検討委員会を設置する方針を示し、現再編計画策定のもととなる答申をいただいています。この経緯を踏まえ、当初の報告書に示された、校区での検討委員会は設置していません。	修正なし
2	2 頁	・H30年5月に設置された今回の勝校併設案を答申として出した「勝山市立中学校再編検討委員会」の参加委員に関してお聞きしたい。参加委員で市内在住の方に関して北部、中部、南部中学校区の方はそれぞれ何名ずついたのかお教えください。当然、検討委員会に校区の偏りがなかったことを確認させていただきたい。	再編検討委員会の委員は、関係団体からご推薦いただいた方で構成されており、校区ごとの選定はしていません。	修正なし
3	2 頁	・文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」によれば『学校教育の直接の受益者である児童生徒の 保護者や将来の受益者である就学前の子供の保護者の声を重視しつつ、地域住民の十分な理解と協力を得るなど「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえた丁寧な議論を行うこと』とされています。1800名の保護者から意見を集めた「あり方検討委員会」に関しては保護者の声を重視されたと言っていると思いますが、それ以降に出された案に関しては、保護者の声を「重視」依然に一度も「聴取」しておられないと思います。また「丁寧な議論」ではなく「一方的な説明」に終始されており、いずれも国の手引きにも反する進め方になりますが、それでよしとして進めている理由は何かを教えてください。 ・3校継続や、2校に併合、勝校に併設しない新中学校などの案含めた希望に関して、保護者や子供達、市民にアンケートを一度もしようとされないのはなぜですか？賛成者が多いことをきちんと数字で示していただければ反対されている市民も納得できる場所もあるかと思いますが。（説明会のアンケートは再編、勝校併設ありきの設問で、さらに参加者のみに実施という偏ったものであるので設計が間違っており参考にはいけません。これまでの生徒や教師へのアンケートも内容は確認できませんでしたが、回答からは同様に勝校併設ありきの設問であったと推察されます。） ・中学校再編成に、保護者からの要望が無いのに、行政が先に進めるのは納得出来ない。	・勝山市の小中学校の望ましいあり方検討委員会において最終報告書が取りまとめられて以降、地区座談会や市PTA連合会、各校区保護者、中学校教職員等との協議・意見交換を実施してきました。平成30年に設置した中学校再編検討委員会から出た答申についても各中学校区説明会を開催したほか、再編計画（案）については市民説明会、各地区説明会を開催しご意見をいただいています。またHPや市の広報を使っての周知、パブリックコメントやメール等での意見募集なども実施し、その都度、回答させていただいています。 ・保護者対象説明会でのアンケートについては、説明をお聞きいただき内容を把握された上でご回答いただきたいと考え、参加していただいた方にお願いました。	修正なし
4	2 頁	勝山市立中学校建設基本計画（案）にかかるパブリック・コメント募集（2023年1月11日）があり、（案）には「日付が記載されていなく、いつ時点のものか不明で、公文書の体をなしていない。猪野瀬地区市民意見交換会では「基本計画の作成は終わった」とあり、遅羽地区では「作成に入った」とある。（案）をパブリック・コメントで意見を募集して年度内に基本計画を決定すると答えるべきである。決定には以下に記載することに明解に答えることが出来なければ、先延ばして検討すべきです。令和4年3月に「勝山市立中学校再編計画」の策定にいたしましたとの提案があり、従来からの説明では20年以上検討してきたと言っているが、勝高に併設するとは検討されていなかった。 平成16年「勝山市の小中学校の望ましいあり方検討委員会」の中学校1校体制は場所の件で行き詰まりの状況同然であった。平成30年9月定例会に、初めて勝高併設してはとの一般質問があり、教育委員会は「渡りに船」と「窮余の一策」に事後策の検討もなく乗ってしまった。まずは、福井県教育委員会の了解からと、令和元年に福井県教育委員会より、勝高敷地内に併設のみが承認され、令和4年3月より勝高併設（案）の検討を開始したことになり、まだ1年間にもみえない。この間の努力は認めますが、具体的提案をパブリック・コメントに募集している最中の以前から、市民などには決定済みとの意見が見られるので、本計画・・・以降の文面なれば、今まで併設以前の諸問題を検討していただけたことになり20年うんぬんの回答を修正し、市および教育委員会は、「この案しかない・最良・先延ばしできない」では意見・提案のしようがない。	勝山市立中学校再編計画は、関係予算を市議会で認めていただいた上で、令和4年3月に市教育委員会において決定しました。現在は、本再編計画を踏まえ、勝山市立中学校建設基本計画策定に向けて、案の検討を進めているところです。新中学校を勝山高校の敷地内に建設する方針は、平成30年に設置した再編検討委員会の協議の中で提案されたものですが、それまで長い年月をかけて、いただいたご意見や協議・検討を踏まえて示されたものです。	修正なし

5	2 頁	・勝校併設のこの案に関して、反対署名の人数から多くの市民が反対していることはわかりますが、賛成の市民は何名でしょうか？把握されている人数をお教えてください。（少数の意見を尊重することと少数の人間で物事を決定することは全く異なります。）	賛成の方が何名いらっしゃるかの把握はしておりません。	修正なし
6	2 頁	・また、前回短期間にもかかわらず4000名を超える反対署名が提出されたようですが、これを無視してよいとした理由をお教えてください。	昨年度の3月議会において、反対署名を踏まえ、再編計画(案)に関する予算(案)に反対する陳情が市議会に提出されましたが、審議の結果、不採択となり、予算案が認められましたので、再編計画を市教育委員会で決定させていただきました。	修正なし
7	3 頁	・現在の3中学校にされた耐震補強工事では、設計画面上、校舎は令和何年まで使用が可能となっていますでしょうか？	耐震補強工事では校舎の耐用年数は長くなりません。鉄筋コンクリート造の校舎の法定耐用年数は50年程度ですが、50年経過後、建物がすぐに使用できなくなることはありません。しかしながら、適切な時期の近い将来、建替えまたは長寿命化改修が必要になると考えています。	修正なし
8	3 頁	しよせん、この計画は、「居候」で、屋敷（勝山高校校内）の大きさではなく、肩身の狭い、惨めな体験をさせられることは、昔から分かりきっていることです。こんな可哀そうなことをなんで成長盛りの中学生にさせるのですか。自由に活動できる場が前提になります。これでは「ふるさと勝山への誇りと愛着を育む学校」には居候ではなりえません。併設による6年間は、勉学に切磋琢磨して仲間同士がお互いに励まし合って学徳を磨いていくとあるが、同一顔ぶれが成長期に6年間も続けば、相手の「学力」・「腕力」・「性格」などが分かかってしまい、無気力になってしまう。特技を生かす子は他校に行ってしまう惰性で6年間過ごしてしまう恐れが多分に想定される。先生方にも同様なことが言える。何事においても遠慮がちになり自主性が発揮されにくくなる。この計画は当初から矛盾しています。	今後の学校教育において子どもたちに身につけさせたい資質能力を育むため、少子化の進行が今後も見込まれる勝山市においては、再編計画に示す新中学校の教育内容や教育環境を整備・推進していくことが重要と考えています。集団の中で多様な生徒が交流し活動することで大きな教育効果が得られると考えています。令和9年度の開校予定を見据え、今後も3つの中学校同士や勝山高校と連携した交流・活動を深め、中高生が共に学びながら互いに成長する環境を構築していきます。	修正なし
9	3 頁等	あり方検討委員会の1学年4学級以上や、県の1学級32人が適正を、統合の一つの理由にしていると思うが、その数字が本当に適正なのか、根拠を示してほしい。（例えば4学級以上と3学級以下の学力の差、標準偏差の差等）	学校基本法施行規則第41条に、「小学校の学級数は、十二学級以上十八学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」とあり、中学校もこれに準じています。また、平成27年の文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」においては、学校規模の適正化に関する基本的な考え方が示されています。	修正なし

<p>10</p>	<p>3 頁 1 1 頁</p>	<p>勝山市の1年間の出生数が1000人を超えていたと思われる団塊の世代が後期高齢期を向かえている今、一昨年の出生数は109人と団塊の世代に比べ実に10分の1になってしまった。</p> <p>現在あるインフラさえも将来の負担になりかねないと言われているなか、子供たちのために何ができるのかを具体的に考えることが、今生きる大人たちの使命と考える。</p> <p>あり方検討委員会の設置から19年、事態は私たちの予想を超える速さで深刻化している。</p> <p>今生まれる子供たちは宿命として世界で誰もが経験したことのない未知の世界へ放り込まれる。残されている時間はほとんどない。</p> <p>●全てにイノベーションを（発想の転換）</p> <p>今年、成人式を迎える若者は191人である。これは今生まれる赤ん坊は、今年成人式を迎える若者の2倍の生産性を上げなければ、今と同じ水準の生活はできないことを示している。考え方も行動も全てが変わらなければならない時が来ている。</p> <p>人口減少は世界の先進国共通の悩みで、各国労働力不足に悩まされている。</p> <p>誰もが将来に不安を感じている今こそ、手遅れにならないうちに思い切った大きな取り組みが必要である。厳しい時代を生きていかなければならない子供たちのためにイノベーションを起こすことができる環境を提供する必要がある。</p> <p>●夢を実現させた勝山（不安を乗り越えた勝山）</p> <p>以前の長尾山に今日の恐竜博物館を中心とした世界を想像できた人はどれほどいただろうか。法恩寺リゾート開発も同じである。えちぜん鉄道は市外の人々から再建は無理との声が多かった。しかしえちぜん鉄道はその後、日本の地方鉄道再生のモデルとなった。これらは全て市外の多くの人々の協力を得ながら、夢を抱き、実現への意欲を持ち続けた勝山市民の情熱が現在の姿を作り上げたと言える。今や、将来に向けて勝山市民の夢は県民の夢へと進化し続けている。</p> <p>これは、先行きが見えないことへの不安のなか、勝山市民が従来の見方、思い込み、価値観などを打ち破った結果である。</p> <p>勝山高校と中学校が同一敷地内に設置されることに不安の声があると聞いた。県立高校と市立中学校が同一敷地内に設置されている例は全国的にも稀であるとも聞いた。しかし、これを前向きに考えていくと多くの利点が見えてくる。勝山市民の多くの知恵で課題は必ず解決できると考えている。</p> <p>●夢が生まれる社会へ（多様性に富む学校）</p> <p>夢は必ず実現する。これは多くの人がいう言葉である。</p> <p>しかし、どのようにしたら新しい夢が生まれ、その夢を膨らませ、実現に向けて情熱を傾けることができるかが重要である。そしてどのようにしたらそのような子供たちを育てることができるかが重要である。</p>	<p>令和4年度5月1日現在、3中学校の生徒数は516人で、さらに、10年後の令和14年度には生徒数が400人を下回る見込みです。少子化の進行が見込まれる勝山市においては、子どもを誕生から18歳成人に至るまで市民総がかりで切れ目なく支援し、最大限の教育効果を上げる新しい教育システムを構築していくことが必要と考えています。そのため、新中学校を今後の勝山の教育の中核とし、子どもたちに身に付けさせたい資質能力を効果的に育む教育環境を整備して参ります。</p>	<p>修正なし</p>
-----------	----------------------	--	--	-------------


<p>3 頁</p> <p>11</p>	<p>さらなる少子化が進んだとしても、コンパクトシティに見合った中学校であれば、中学校の移転等は必要としない。新中学校の校舎は長期間の使用を見込んで、校舎建設に思い切った予算が投入できる。結果として、将来の負担軽減となる。</p> <p>●不可欠な認知度向上(このうえない立地条件)</p> <p>私たちは多くのことで認知度を高めることで苦労している。商品販売や観光などでは多額の予算を使い認知度を高めるキャンペーンを行っている。注目されることは大事である。教育面でも学校の認知度は、生徒のモチベーションにつながると考える。</p> <p>●勝山高校は多くの人に認識される場所に立地している。</p> <p>春の桜の季節に南側から157号線に沿って勝山高校を見ると実にきれいである。背後に長山公園の桜、その背後に越前甲の残雪、右手にはジオアリーナと大師山。中部縦貫道が開通すると恐竜博物館へ向かう多くの県外客が157号線に沿って向かうものと思われる。素晴らしい風景の中にある統合中学校は市外の多くの人に自然に認識される。</p> <p>また、多くの市民が現在この157号線を利用していると思われるが、統合中学校が勝山高校に併設されると、学校のそばを通った時多くの人が、エネルギーに活動する生徒たちに思いを馳せるのではないだろうか。</p> <p>●長山公園の整備(公園の中にある学校)</p> <p>長山公園からは荒島岳が見える。旧制福井中学の学生だった深田久弥が勝山に嫁いだ姉に会いに訪れ、勝山から荒島岳を眺めた。この勝山からの光景が久弥の心に深く刻まれ、荒島岳を日本百名山に選ぶなどその後の名山選定に大きな影響を与えた。</p> <p>国道157号線の開通が今の状況を作ったのだが、統合中学校がここに設置されれば県内で最も美しいところに立地している中学校になると私は思っている。</p> <p>市長は長山公園を整備すると表明された。長山公園は市内を一望でき、手軽に訪れることができる市民の憩いの場所である。</p> <p>長山公園からは勝山高校がすぐ南下に見え、ジオアリーナも横に見え、グラウンドの奥には奥越特別支援学校が思ったより近くに見える。大師山は凛とそびえている。</p> <p>統合中学校が勝山高校敷地内に設置されると、市民は必然的に長山公園を訪れる機会が多くなる。人は人を呼ぶ。各施設からの相乗効果を期待できる場所である。</p> <p>公園の中にある学校のように私には見える。</p>	<p>新中学校を勝山高校の敷地内に建設し、長山公園、ジオアリーナを教育施設としても活用することで、このエリアを中高生が共に学び交流する新たな文教ゾーンとして整備したいと考えています。充実した教育環境を子どもたちに提供し、小学校や隣接する特別支援学校とも連携を深め、勝山の教育がより良いものとなるよう努めて参ります。</p>	<p>修正なし</p>
<p>4 頁</p> <p>12</p>	<p>夢を育む学校を作らなければならない。6年間にわたる生徒たちが集う学校、市街地と旧村部など違った環境で育った生徒たちが共に集う学校、共に学び合い競い合い鍛え合える学校、多様な部活動ができる学校、専門性の高い教育を受けられる学校、・・・。</p> <p>多様性に富む環境を中学生や高校生に提供すれば、生徒たちはいろんなことを知り、考え、学び、体験する機会が得られ、夢が生まれ、実現に向けて頑張れるものと考えます。</p> <p>●勝山はコンパクトシティ(各施設との連携が容易)</p> <p>2050年問題における「高齢化」は人間だけでなくインフラにも起こります。生活するために欠かせない社会資本である水道管、道路、電線などの老朽化が進み、人間の高齢化と相まってインフラ整備が難しくなると予想されています。(インターネットから抜粋)</p> <p>勝山は従来から市役所を中心とした約2km範囲内にほとんどの市の主要公共施設が配置されたコンパクトシティとなっている。</p> <p>平泉寺やスキージャムは少し離れるが、それでも勝山橋からはほとんどの主要観光地のすばらしい光景が一望できる、全国的にも非常に稀なところである。</p> <p>このため各施設が連携しやすく新たな投下資本が効果を発揮しやすくなっている。</p> <p>勝山高校も市の中心部に位置しており、ジオアリーナ、図書館、市民会館だけでなく恐竜博物館も近いため、各施設を利用した教育を行いやすい。27年後の2050年には全国的に全人口の4割が65歳以上の高齢者になり、財政も逼迫すると言われている。</p>	<p>勝山市では、小中学校の教職員が連携して授業改善に取り組む、確かな学力の育成・深化を進めています。また、全小中学校がユネスコスクールに加盟し、「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」に認定されたふるさと勝山の豊かな自然・文化・歴史などを題材に、「環境教育」や「ふるさと学習」にも積極的に取り組んでいます。今後も地域や社会の課題に取り組む探究的な学習や、同学年や異学年をはじめ他校種のより多くの児童生徒や、企業・地域の方々など幅広い年齢層の人々と積極的に交流したり活動したりする学習を進めることが必要だと考えています。</p>	<p>修正なし</p>

13	4 頁	<p>●夢を生むヒントは勝山の中にある（恵まれた教育資源） 恐竜博物館には目を輝かせた多くの子どもたちが全国各地からやってくる。 恐竜化石の発見の機会は子供も博物館の研究者にも平等で垣根はない。恐竜が生きていた時代はインターネットによると中生代（今から2億5200万年前～6600万年前）で気の遠くなる話であり、恐竜への想いは恐竜の世界を考えると子どもたちも大人も研究者もそんなに大きくは変わらない。 今後、県立大学やホテルも建設される。 恐竜博物館は子供から大人まで多くの人を呼び込むとともに新しい開発の考えを生みだしている。多くの人出は開発実現化の背中を押し、さらなる新たな人を呼び込むという循環を呼んでいる。 恐竜を授業やクラブ活動に取り入れることができる中学校は全国でも稀であると思われる。高校とも連携して県立大学との交流をはかれば、子供たちにとって勝山に生まれたことへの誇りと大きな自信を得られることになると思う。</p>	令和7年度に開設予定の福井県立大学恐竜学部（仮称）が、令和8年度から勝山に建設する学部棟で授業が始まります。新中学校では、奥越で初めて大学の学部が開設される強味を活かし、探究的な学習をはじめとして、県立大学や恐竜博物館との連携・交流を進め、ジオパーク学習やESDの取組みなどをより充実していきたいと考えています。	修正なし
14	5 頁	<p>平泉寺、スキージャム、越前大仏、法恩寺山などの美しい九頭竜火山帯、九頭竜川、人々の生活を支えてきた田畑・・・これらの中に人々の常識を破るヒントがまだまだ隠されているかもしれない。 多様性は多くのものを生み出す。 新中学校に期待する 市立中学校が夢を生む学校となれるように、これから多くの人の意見を取り入れ、検討を重ね開校できることを期待する。 施設については将来への投資である。時代の流れを見据え、子供たちが勝山の地で立ち行けるよう、できる限りの予算を向けていただきたい。 【期待例】 ●夢が生まれる学校 環境が人を育てる。みんなで努力すれば可能である。 ●多様な人との交流 新中学校では多様な人と交流できる環境と交流できる機会の提供。 多様な世界でいろんなものや文化が生まれている。 ●協働できる人の育成 人が少なくなるなか、人々はいろんな力を出し合わない生きていけない。 ●コミュニケーション能力の向上 人々と意見をすり合わせるにはコミュニケーション能力の向上が欠かせない。 ●人の五感を活用した教育 人は、臨場感、感動、視覚、触覚、嗅覚、味覚など、繊細な能力を使って生活している。 全ての商品はこれらを意識して製造されている。 恐竜博物館は研究成果を人々の五感に強く訴えている。 ●プレゼンテーション能力を育てる 提案がなければ進歩できない。失敗や批判を恐れず改善できる人を育てる。 ●中学生と高校生との合同活動 バトミントン・太鼓などの部活動や学校行事、生徒会活動など ●中高生と県立大学恐竜学部との交流 恐竜、ジオパークなどの探求的ふるさと学習 ●グローバルな視点で考えられる 学校で学んだことを世界で活用する</p>	新中学校の教育内容や学習環境等については、いただいたご意見を踏まえ、今後、さらに具体化を進め、子どもの成長を支援する魅力ある学校づくりに努めて参ります。	修正なし
15	5 頁～7 頁	<p>(4) 連携型中高一貫教育を生かした特色ある教育内容 ①について ・現在でも3中学校はそれぞれの地域を中心にESD教育やSDGsをテーマに探究学習を行っている。勝高に併設になると現在のよう地域に根差した活動がしづらいのではないかと、高校の活動と連携ということだが、中学生は中学生なりの学習ではだめなのか？内容を見ると”中学生は劣っていて高校生は視野が広く素晴らしい”という考えがあるように思う。中高生合同で行うことは統合せずにもできることであるし、それぞれ単独で行う意義もあると思う。</p>	中学校と高校では、学習のレベルや進度が異なりますので、探究的な学習についても、それぞれの指導内容・計画を進めていくことを基本としています。学習の過程で中学生が高校生から助言を得たり、高校生の探究活動に触れたりすることで、探究スキルの向上や視野の拡大など、中学生の探究学習を深化させていきます。中高が近接することで従来の中高連携よりも、より大きな効果が得られると考えています。地域に向いての学習については、スクールバスの授業での利用など、効果的な運用を検討して参ります。	修正なし

16	5頁～7頁	②について ・高校教員の負担につながるのではないかとまた高校授業にける時間や教員が不足する懸念もある。	教員の負担増にならないように配慮することは当然と考えていますので、対応を検討して参ります。また、県内には連携型中高一貫教育を進めている地域があり、これまでの先進事例を参考とすることで、負担軽減に活かしていきます。	修正なし
17	5頁～7頁	③について ・現在でも総合の時間などでライフデザインを考える時間はある。進路については高・大生や職員をそれぞれの中学校に招いて話を聞くことが可能。 ・各教科の時間に加え、新たに「ライフデザインタイム」の時間を設定し、キャリア教育を推進するとありますが、具体的に週/月/学期等の中で具体的にどれだけの時間をかけるつもりなのか明確にしてほしい。	・キャリア教育の重要性がより高まっていることを踏まえ、現在の中学校よりも、指導時間や指導内容をより充実強化したいと考えています。そのため、校時や授業時間を見直し、ライフデザインタイムの時間を確保した上で、入学から卒業までの3年間を見通して、系統的な学習計画を策定したいと考えています。 ・中高が近接することで、時間的な制約を最小限にし、必要な時に柔軟に対応できる環境がより効果的と考えています。 ・県内では、1校時の授業を45分で実施し、そこで生まれた時間を生徒の主体的な活動の時間として毎日実施している中学校があります。このような先進的な事例を参考とし効果の検証など行いながら検討を進めていきます。	修正なし
18	5頁～7頁	④について ・”高校生の主体的な活動に触れ”とあるが、中学生単独の方が主体的に活動できると思う。部活動も必ずしも”レベルの高い高校生”と一緒にすることが中学生のメリットになるとは思えない。合同練習が必要な際は各々連携すればよい。	すべてを高校生と一緒に活動するというわけではありません。これらは連携しないとできないことではなく、連携することによって教育効果をより向上させるものとして捉えていただきたいと存じます。	修正なし
19	5頁～7頁	⑤について ・情報技術が発展した今、わざわざ中高併設連携の必要があるように思えない。	オンラインによる連携も可能ですが、教育においては対面での交流や活動が大切であります。新しい学習スペースとしてICT環境を充実した多目的室やメディアセンターを整備し、探究学習などにおいて小グループ同士での発表やディスカッションが容易に実施でき、必要に応じて高校生からの助言等も直接得られる学習環境を中学生に提供したいと考えています。	修正なし
20	6頁	TT教育 ・もっと具体的に高校の先生と中学校の先生が各学期毎生徒にどの様な教材を用いて、どの様な教育するのか明確にして頂きたい。注) 福井県中高一貫教育検証委員会報告書 (R3. 8. 27) 抜粋の各地区の”中高連携教育の内容”参照 ・TT教育の数学と英語時間は、連携コース(勝高志望)と一般コースみたいに分類した授業形態になるのですか？	・新中学校のカリキュラムなど教育内容については、令和9年度の開校予定までまだ時間があり、十分に検討を重ねていきたいと考えていますので、現時点では、その方向性についてご理解をお願いいたします。 ・新中学校においては、連携クラスは設置せず、中学3年生全クラスでサポート授業を実施する方針です。	修正なし
21	6頁	勝山高校敷地内に、建設して、TTをする計画を示しているが、今のままでも、出前授業として、出来る。先日も中部中学校で行われた。わざわざ勝山高校敷地内に建設するメリットがわからない。	現在でも、中高が連携した取り組みを実施していますが、学校が離れていることから、生徒や教員の移動に時間がかかるなど頻度に制約があります。必要な連携を効果的に実施するために中高が近接する環境が重要と考えています。	修正なし

22	5 頁～7 頁	<p>「4新中学校の学校像」の中の「(4)連携型中高一貫教育を生かした特色ある教育内容」について意見を述べさせていただきます。</p> <p>① 文科省の「中高一貫教育Q&A：教育課程・評価に関すること」で連携型中高一貫教育校についてもその教育課程の基準の特例が記載されています。(下記参考資料参照)それによりますと、特例として認められているのは、「中学校は必修科目を減らし、選択教科を増やすことができること」だけで、極めて狭い範囲の内容になっています。にもかかわらず本計画案の「高等学校の敷地内に中学校を建設までして中高の連携を図ろうとすること」は矛盾しているのではないですか。</p> <p>(参考資料) 文科省資料「中高一貫教育Q&A：教育課程・評価に関すること」で示されている「Q15連携型中高一貫教育校の教育課程の基準について」の中で次のように説明されています。 「連携型中高一貫教育校においても、中高一貫教育の特質を生かした特色ある教育課程の編成・実施が可能となるよう、次の事項について教育課程の基準の特例が設けられています。 ・連携型中学校において、必修教科の授業時数を減じ、当該必修教科の内容を代替できる内容の選択教科の授業時数の増加に充てることができること。また、連携型中高一貫教育校では、中学校と高等学校との指導内容の入れ替え等が認められていない。」(一部抜粋)</p>	<p>ご指摘の教育課程の基準の特例を活用することを目的として連携型中高一貫教育を導入するものではありません。他の回答でも繰り返しお答えしているように、今後も少子化の進行が見込まれる状況を踏まえ、令和の時代に子どもたちに求められる資質能力をどのように育成していくかが大きな課題と捉え、新しい勝山の教育を構築していくことを目指しているものです。</p>	修正なし
23	5 頁～7 頁	<p>②本計画案では「連携型中高一貫教育を生かした特色ある教育内容」として5項目が挙げられていますがこれらの教育内容を実施するのに高校の敷地内に中学校を建設する必要がどこにあるのですか。仮に連携するにしても現在の金津高校と金津中学校・芦原中学校のような形で十分ではないのですか。本計画案では連携のための連携に陥りそれが中学校及び高校の生徒や教員に負担をかけることになるのではないのですか。</p>	<p>あわら地域をはじめ県内の連携型中高一貫教育においては、それぞれ中高連携の成果をあげています。この先行事例を生かすとともに、学校間の移動等に係る時間的な制約を最小限にして教育効果をより向上させるため、勝山高校の敷地に新中学校を建設します。</p>	修正なし
24	5 頁～7 頁	<p>③ 本案では連携内容として</p> <ol style="list-style-type: none"> 1「探求な学習」 2高校教員による「サポート授業」 3「ライフデザインタイム」 4「生徒主体で進める学校行事・特別活動・部活動」 5「ICT環境の充実と効果的活用」 <p>が列挙されている。 しかしながら、これらは真に連携を必要とするものなのだろうか。</p> <p>文科省資料「中高一貫教育Q&A：教育課程・評価に関すること」で示されている「Q15連携型中高一貫教育校の教育課程の基準について」として次のように回答されています。 連携型中高一貫教育校においても、中高一貫教育の特質を生かした特色ある教育課程の編成・実施が可能となるよう、次の事項について教育課程の基準の特例が設けられています。 ① 連携型中学校において、必修教科の授業時数を減じ、当該必修教科の内容を代替できる内容の選択教科の授業時数の増加に充てることができること。 ② 連携型高等学校普通科における学校設定教科・科目について、卒業に必要な習得単位数に含めることができる単位数の上弦を20単位から36単位に拡大すること。</p> <p>「Q16連携型中高一貫教育校では、なぜ、中学校と高等学校との指導内容の入れ替え等が認められないのですか」 A16連携型高等学校においては連携型中学校の生徒についても入学者選抜の対象とすることとしています。中等教育学校や併設型一貫教育校と異なり、生徒は必ずしも6年間の一貫教育を受け入れられることを保証されていないため、中学校と高等学校の指導内容の入れ替え等は制度化していません。</p>	<p>基本計画(案)に掲げた特色ある教育内容は、中高が連携しなければならないものではありませんが、今後、子どもたちに求められる資質能力を育むために、少子化が進行する勝山においては、中高が連携することで、より高い教育効果が得られると判断し進めるものです。</p>	修正なし
25	1 1 頁	<p>将来の生徒数(R15で385人等)は、今後の転入を見込んでいない。例えば過去10年間の年齢別の転入数を考慮すべきではないか？(恐らく年中、年長で転入する人は結構いるのでは?)</p>	<p>当該の資料は市の住民基本台帳の人数により推計したものですので今後の転出入により人数は増減しますが、そのことで学級数が大きく変わることはないと考えています。</p>	修正なし

26	13頁	<p>・・・用地は、市の中心部に位置し、とありますが広辞苑によりますと「中心とは、周囲や両端から等距離にあるような点とその周りの部分」とあります。勝山市の地域資源を求めるとすれば、円形ではなく、南西長く位置しているので、あえてコアゾーンを求めるとすれば市役所庁舎の周辺となりますが、勝山高校の位置はその東側の山岳緑地ゾーン寄り、辺鄙な地域です。勝山高校は、昭和23年に開校しましたが、勝山中学校との併設でした。昭和26年に焼失し、狭隘と生徒数の増大も考えられ、当時は田圃で建設するとの発想はなく、やむを得ず、昭和27年に現在位置に決定され建築工事が始まりましたが、この地では利便性が悪く、発展性のない狭隘な所で、北側は低い丘陵になっていて、利用価値のない土地で、北側は沼田なので、丘陵の土砂をトロッコで運び埋め立てました。出来上がった正門は今のセミナーハウスの前で、今の正門の所は防火用水池で通学バスがそこに落ちる事故もあり、道路沿いには防空壕などを順次整備して現在の様になってきています。勝校校門から公衆電話ボックスのある4差路までの道路沿いは危険で、特に夕方からは物寂しさが漂ってきます。現に高校生が薄暗い道端で親の迎えを待っているのは情緒不安定な年ごろの子に物寂しく惨めさを体験させているのに、中学生までなぜさせるのですか。このような体験が身につけてくる中学生が勝山を去っていくのは当たり前です。なぜ、歴史を繰り返すのですか。勝山には、勝山城址の天守台を撤去して市民会館を建設してしまった前例があり、思い付きと勢いで熟慮せず、つっぱしり押し切り、ことをなす弊害です。</p>	<p>勝山高校建設の経緯についてご説明をいただきましたが、現在の勝山高校生がご指摘のような物寂しくみじめな思いを持っているとは受け止めておりません。探究特進科が新設され、普通科とともに探究学習に力を入れるなど高校生は生き生きと学校生活を送っています。今春の高校入試においても探究特進科は高倍率となり、勝山高校で学びたい中学生が増えてきています。このような勝山高校と連携することを通して、中学生がさらに成長することが期待できると考えております。</p>	修正なし
27	15頁	<p>長山公園グラウンド・ジオアリーナの活用とありますが、長山公園グラウンドは都市公園であり市民が活用しています。 教育施設として活用するには、防犯・野獣対策および利便性・保全などを確保する必要がありますその調整は誰がするのですか、先生がするとなれば、日常勤務で超過密と聞いています。これは学校がある限り継続になります。こんなことが出来ますか。ジオアリーナも同様です。</p>	<p>当該施設は市の施設として管理されています。学校の授業や行事、部活動等で使用する場合には担当教員がついていますが、市民の方が利用される場合も含め、必要に応じ防犯等の対策を講じることは大切であると考えています。現在、社会体育等で使用されている団体等に対しては、中学校統合後には、3中学校跡地の体育館・グラウンドの使用を含め、活動場所の調整をお願いしたいと考えています。</p>	修正なし
28	15頁	<p>体育館にジオアリーナを活用することを基本とすることに 22ページに防犯計画として、不審者対策が記載されているが、ジオアリーナでランニングコースの出入り(受付でカードは出すが)が自由な中、ランニングすることを装って、写真撮影等行う者に対して、どうやって防ぐのだろうか?中学生が決まった時間帯に利用することがわかっているため、特定の生徒に対して、ランニングコース等から観察されるということがないのだろうか? 勝山市立プールは2階に閲覧スペースもあるが、場所が限られており職員の日も届きやすいと思うが、ジオアリーナに関しては、どのように対応するのだろうか? 学校に通わせる保護者にとって、学校(特に義務教育中)の安全は確保されなければならないと思う。心配で勝山の中学校には通わせたいとは思わない。</p>	<p>ジオアリーナには防犯カメラが設置してあり事務室で管理しています。また一般の方や団体利用の受付はジオアリーナの受付を通して行われています。日中はほぼ利用団体がなく体育の授業の時には学校だけが利用する形になると考えています。一般の方がジオアリーナに入るには受付を通ることになり、体育の授業では教員が指導にあたっていますので不審な動きがあればすぐに対応するなど、安全安心の確保を最優先として対策を検討します。</p>	修正なし
29	21頁	<p>○配置計画、平面計画 生徒の教育環境を第一に考えた計画とするのであれば、教職員用の駐車スペースは建物近くで確保する必要は全くなく、ジオアリーナ付近で確保すべきである。そのスペースをスクールバスや保護者の送迎用のロータリーとして、当初から整備すべきである。 これまでの説明会では、安全面からも生徒の送迎等はジオアリーナとの考えだが、10年、20年先を見通して、生徒の目線に立って現実的な配置計画とすべきである。 様々な「安全面」だけを考えれば、スクールバスの発着はまだ理解できるにしても、放課後は帰宅時間帯の幅が広くて集中しない。将来的に、部活動等で遅くなった場合でも、送迎車両は正面玄関への乗り入れは絶対にさせないのか。時間の経過とともに、「なし崩し」的に実態が当初の計画から外れていくことが目に見えている。例外を認めるなら、当初から堅持できないような計画での計画をすべきではない。想定外の事故、リスクを回避するため、生徒の待機場所として、1階部分に「多目的室」あるいは「メディアセンター」を配置して活用する方が、管理者も保護者も安心できる。 【現状の不明点】 ・放課後の保護者との連絡で、現在、中学生は携帯電話の所持、使用を認めているのか、認めていないのであれば、学校から距離的に遠いジオアリーナでの迎えにはリスク、課題が多すぎる。</p>	<p>教職員の駐車場については、今後の検討課題としていきます。スクールバスの利便性向上を図り、保護者送迎車はできるだけ少なくするようお願いしていきたいと考えています。PTA部会ではスクールバスの運行について検討を進めており、朝の登校時刻や、夕方、部活動の有無による下校時間などを考慮して必要な便数を考えているところです。地下通路の利用により、新中学校の校舎からジオアリーナへは3分台での移動が見込まれますが、安全安心に生徒が登下校できるよう配慮していきます。現在の中学校では携帯電話の使用は認めておらず、学校の電話を利用するよう指導していますが、新中学校の開校にあたり、携帯電話の使用など学校生活のルールについても実態を踏まえながら見直ししていきたいと考えています。</p>	修正なし

30	21頁	<p>・ジオアリーナをスクールバス発着地として計画しているが、国道を跨ぎ校舎とアクセスすることとなる。校門の位置によっては校舎までの移動に時間を要する。また、交通事故等のリスクも考えられる。ジオアリーナの交差点を利用し、下記の図の赤丸で囲んだエリアを活用し、スクールバスの発着場および教職員駐車場や駐輪場または車待機場所として検討しては如何か。また、その他の目的活用も考えられるが、国道を渡らずシンプルに学校とアクセスできるのではないか。地下通路を経由せずにアクセスすることができるため、利便性が期待できるのではないか。（敷地エリア内で活動できる）</p>  <p>(図表) 新中学校の敷地</p>	<p>ご提案ありがとうございます。スクールバスの発着場については、想定される運行本数や学校とのアクセスの利便性などを考慮してジオアリーナとし、建設予定の地下通路の出入口付近での乗降を考えております。このことについては、これまでいろいろとご意見をいただいておりますので、利便性や安全確保の観点などから総合的に判断して参ります。</p>	修正なし
31	22頁	<p>日本経済新聞に「教育岩盤」(’23, 1, 21)によりますと、過疎化の地域で少子化に対応するには、長期的な展望の校舎ではなく、永続的な学校を造る時代ではないので鉄筋コンクリート造りをやめて、建設費の安い鉄骨造りにすべきとあり、校舎内の造策は併設決定後に決めればよいとの事である。</p> <p>本案は無用の長物になるおそれがある。</p> <p>先の意見交換会「北郷地区」では、現中学校の活用はもう少し時間が欲しいとあり、令和4年度勝山市の子ども子育て保護者説明会 46頁には「3中学校の跡地(体育館、グラウンド)の利活用を検討するとある。何のための勝高併設か、基本計画(案)に整合性がまったくありません。</p> <p>既設3校の活用計画を含めて検討しなければ、広大な使用見込みのない空き地になってしまいます。</p>	<p>基本計画(案)では新校舎の構造を鉄筋コンクリート造としておりますが、今後、設計の段階で様々な構造検討等をして参ります。3中学校の跡地利用については、体育館等が社会体育施設として利用され、更に災害時の避難所に指定されていることなどを踏まえ、有効な活用方策を検討して参ります。</p>	修正なし
32	27頁	<p>「給食搬入荷捌室」とあるが、せつかく1校にまとめるのなら、自校方式の給食を提供することは検討されなかったのだろうか？</p> <p>自身も勝山の中学校出身であるが、当時より宅配弁当であり、以後、汁物、果物が追加になったとは聞くが、給食に対する不満もあるのではないかとその改善はされないのだろうか？</p>	<p>自校給食に関しては市議会をはじめ説明会でもご要望をいただいておりますが、様々な課題を踏まえ、現在のセンター方式を継続することとしています。今後も地元食材の活用を含め、安全安心でおいしい給食となるよう改善を検討して参ります。</p>	修正なし
33	28頁 ～29頁	<p>メディアセンター</p> <p>①蔵書の貸し借り管理、部屋の清掃管理はどうするのか？</p> <p>②高校生と共用すると、中学生は萎縮して活用できないか心配です。</p>	<p>・メディアセンターは本の貸出しのほか効果的に学習が進められる空間として整備します。中高生が共用しますので、管理・運用については双方で協議いたします。</p> <p>・中高生の共用について心配の声はいろいろとお聞きしていますが、他の中高一貫校の状況も踏まえ、中学生が積極的に活用できる学習スペースとなるよう配慮して参ります。</p>	修正なし
34	31頁	<p>7案の全てに言えることは、校門ない学校なんて見たことも聞いたこともない。ましてや、校門を作る余地がなく、入口が2カ所あり、正門は東側では校舎と並行して歩き入校、大半の徒歩通学者は、西側入口から入校となり、いわば裏口から入ることになる。基本的な学校の構成とはなりえないし、学校があるかぎり続くことになる。全国的にもこの様な学校はありえない。</p> <p>勝山のシンボルとなる中学校の構成にし、ここを卒業したと思わせる「誇り」と「生きがい」になるような学校にはなりえない。</p>	<p>校舎等の詳細な設計は、基本計画策定後となりますが、これまでの検討においては、勝山高校の玄関を建て直す要望も出ており、引き続き生徒の心情に寄り添った学校となるよう検討を進めて参ります。</p>	修正なし
35	31頁	<p>中学校の校門が、まだ決められて無い。</p> <p>スクールバスが運行されるなら、校門前に到着するべきです。</p> <p>バスが校門前に着けられないような不便な場所に新中学校建設とは、とても恥ずかしいことです。</p>	<p>スクールバスの運行については、通学時の安全安心に配慮し、ジオアリーナを発着場としています。地下通路の出入口付近を乗降場所として、学校へのアクセスなど利便性の向上を図っています。</p>	修正なし

36	3 2 頁等	配置計画のpdfが粗くて、字が読めません。元の高校生はどこに行くのか？同じ敷地面積で（追加で用地取得なし？）、生徒数だけ増えて、グラウンドの使用等で問題ないのか？デメリットはないのか？	勝山高校の敷地は生徒数が約1000人いた時代と変わっていません。現在の勝山高校の生徒数は315人、令和9年度の開校予定時の中学校は471人の想定です。一部の教科では勝山高校の施設を共用しますが、中高の授業時間数を踏まえ、互いに支障なく使用することができます。部活動においても、長山グラウンドやジオアリーナの活用を含め、中高生が独自に活動できる見込みで検討を進めています。	修正なし
37	3 2 頁	・勝山高校併設の計画では、新中学建設時、以後、高校・中学それぞれの修繕や建替え時と度々、騒音や危険に子供達がさらされることとなります。これは別敷地に建設すれば必要のない害や危険ですが、この点に関して準備委員会で検討されていればその見解をお教えください。検討が無ければ検討し、その考えを市民に提示いただきたい。 ・また、その時の仮設プレハブを建てる場所もないと思われませんが学生はどこで授業を受ける想定でしょうか？見解をお教えください。	・工事計画は今後の設計段階で工程等も踏まえて検討していき、併せて騒音対策等も考慮して参ります。県では今後勝山高校特別教棟のリノベーションを計画していると伺っており、令和9年度の開校時には、すべて工事が終了している見込みです。 ・中学生は開校まで各中学校で授業を受けますので影響はありません。勝山高校では特別教棟のリノベーションを計画していると伺っていますが、県においても、工事にあたってできるだけ授業に支障がないよう計画されていくものと考えます。	修正なし
38	3 6 頁	○新中学校校舎 平面計画（案） 生徒の自然環境、教育環境に配慮した計画とするのであれば、中学校専用の「中庭」等の「憩い、癒し」の空間を創るべきである。 現計画案では、高校の敷地に間借りさせてもらい、しかも高校の施設に影響が最小となるよう、遠慮して、まるで「空き地」を活用しての平面計画を立案している。 何処の中学校に「憩い、癒し」の空間もないような学校があるのですか、高校生との融和を図るために中庭は共用とするような平面計画であれば改めるべきで、専用の場を設けて当然である。卒業写真の一枚も撮る場所も無いような無機質な施設である。 ジオアリーナへの連絡通路に何億円もかけ、また通路の維持管理にも毎年相当額が必要と思われる。 連絡通路の利用は、朝の登校と帰宅時のスクールバスの発着のみに限定し、これ以外は「閉門」すること、教職員による管理業務の軽減や維持管理費のコスト削減を図るべきである。 このため、平面計画案を根本から見直し、もっと空間的に余裕を持たせるため、現高校の施設・設備も含めて、新校舎として平面計画とすべきである。当然、勝山市の費用負担で実施すべきものである。 単に、「勉強の場」だけの施設としてではなく、仮に高校が無い状態を想定した施設配置計画を立案し、魅力ある新校舎にすべきである。	再編準備委員会の施設整備部会においては新校舎建設に係る検討の中で、校舎内のほか中庭など生徒が落ち着く憩いの空間が必要である旨、意見が出ており、今後の設計の中で検討して参ります。 地下通路に関しては、今後、県との協議を進めますので、いただいたご意見を踏まえ引き続き検討して参ります。	修正なし
39	4 3 頁 5 3 頁	平面計画イメージ図には勝高側の道路が記載されていない。地権者の了解が取れていないなどなのか。この地は従来から軟弱地盤で「字」名からも知られ、湧き水（勝山では「しょうず」）が出ていて貯水槽があり木造の古びた蓋があった。その水を勝高校舎北側の山側に加圧槽があり、勝高の生活用水・防火用水にしていたこともある。多少の降雨で浸水災害に見舞われている土地である。 ボックスカルバートの上部に道路からの重圧がもろにかかり、ボックスカルバートでは軟弱地盤で地下から湧いてくる浸水で傾斜・沈下して対応できないので、ポーリング調査してその結果で建設の提案があれば検討に値するが、建設費3.9億円にはその費用を含んだのか。これもバス停をジオアリーナになったことによる思い付き案ではないか。何も検討していないでパブリック・コメントを求めている。 平泉寺町大渡地籍で前国道157号線の工事で農業・生活道路の横断力所で前後は完成したが一時中断した。当時の技術では、トンネル上部と道路面が少なくなり、重圧を分散させるにはトンネルを小さくする必要があったので協議の結果、波板鋼板の小さなトンネルになってしまった。そして農業資材などの置き場になってしまっていたが、新国道の建設により立派な大渡市道BOXとなっているので参考にすべし。 合同体育館と南高校との間の地下道も浸水災害に対応できず、いつしか撤去されてしまった。	地下通路の工事にあたっては、現地が軟弱な地盤であることは認識しておりますので、地質調査を踏まえ、適切な設計となるよう検討して参ります。	修正なし

40	4 3 頁 4 4 頁	<p>・ジオアリーナとのアクセス地下道路を計画しているが、現時点の段階で防災・防犯に対する危険リスクが考えられるのであれば、地下道路そのものがリスクと考えます。安全安心を目的とするのなら、まずリスクとなるもの自体を排除しなければ、リスク自体は残留することとなります。例え、防災・防犯システム等を整備したところで安全確保できるとは言いきれないと思います。</p> <p>わざわざコストを掛けリスク要因となる構造物を計画するのは非効率的と考えます。</p> <p>・地下道路を使用しない場合、ジオアリーナで授業活用を行うことは非常に困難である。地下道路の代わりとして体育館建設を検討しては如何か。既存の体育館を2階建体育館に改造するか、校舎内に体育授業ができる体育エリアを設置するなどといった工夫により対策できるのではないかと考える。（悪天候時の影響も軽減できる）</p> <p>費用問題や用地の拡大等の懸念はあるが検討の余地はあると思われる。</p> <p>部活動によるジオアリーナの活用については、移動等による時間は比較的余裕があるため大きな問題はないのではないかとと思われる。（一般市民との利用調整は必要）</p> <p>・地下通路に関して、子供たちの移動時間も示されてないし、内履き帯なんていうものをつくる意味が分からない。そもそもジオアリーナまでスクールバスとか、しかもジオアリーナの後ろに通路の出入り口を作るなど、子供達には不便しかない。</p> <p>・市の案を実行するには多額の税金が使われることとなります。ジオアリーナとつながる地下道も問題です。防犯の面でも生徒の安全の面でも、また、今の気象状況で、いつ、どこで集中的に大雨が降るかわかりません。大雨が降った時に地下道は水浸しになることもあるのではないのでしょうか。新聞に早々と決定したかのよう報道されると多くの市民はもう決まっちゃってしまいます。勝山の未来について案じている一市民です。</p> <p>・地下通路は、不便で、危険です。区長会長が力説している。税金の無駄使いになる。</p>	<p>・地下通路については、現時点では、基本計画に記載のとおり防災・防犯対策を検討していますが、施設を整備した上で、運用面などさらに対策の強化を検討して参ります。</p> <p>・少子化が進行する勝山において、今後どのように教育を進めていくべきかを考え、県内有数の規模を誇るジオアリーナや長山公園グラウンドを活用し、中高生が共に学び交流する文教ゾーンを構築したいと考えています。そのため地下通路の建設を併せて検討しているところであり、防災や防犯対策を講じた上で計画を進めて参ります。</p> <p>・新中学校の校舎（一番離れた場所）からジオアリーナまでの移動は、3分台と見込んでいます。ジオアリーナを授業や部活動、学校行事などに活用したいと考えておりますので、移動の利便性を図るため内履きのままで移動ができるレーンの設置を検討しているところです。</p>	修正なし
41	4 5 頁	どこに校舎を新築しても時代の趨勢であり、連携・探究および新しい教育方針などもどこの学校も同様である。	今後の学校教育を進める上で、勝山市においては少子化の進行を見据えた新しい教育のあり方を構築する必要があると考えており、これまでの協議・検討を踏まえ、再編計画を策定するとともに、現在、基本計画（案）をお示ししていますので、ご理解をいただきたいと存じます。	修正なし
42	4 5 頁 ～ 5 1 頁	ZEB 新中学校のZEBは、4つの分類の中のどのレベルを考えていますか？	第5回施設整備部会の議事録にもありますが、設計ではZEB Readyからの検討をして参ります。	修正なし
43	5 2 頁	来年度、設計とありますが、中学校統合はいつ決定したのでしょうか？自分が広報誌等を見逃しているのだと思われまますが。	長年にわたる検討や、その間いただいたご意見等を踏まえて方向性を定め、平成30年に設置した勝山市立中学校再編検討委員会の答申（令和元年7月）をもとに、令和4年3月に勝山市立中学校再編計画を策定いたしました。本計画に係る令和4年度予算は市議会でお認めていただいています。	修正なし
44	5 2 頁	既設3校の耐用年数の経過で建て替えが必要になると検討で、騒音などで没となり、勝高敷地内の工事騒音および工事車両の出入りのことは何も記載がない。意見及び提案を避けている。24ヶ月間の建設工事の対応は検討したのか、勝高などの了解をえているのか。工期は長すぎて併設は問題が多すぎる。臭いものには蓋をするのでは併設案は破綻している。	工事計画は今後の設計段階で工程等も踏まえて検討していくことになります。併せて騒音対策等も考慮して参ります。さらに、勝山高校のリノベーション工事も並行して行われますので、県と協議しながら進めて参ります。	修正なし
45	5 3 頁	建設工事費は誰も必要なことは分かっている。経済状況が変動する可能性が高いので、基本計画が1本に集約されたならば検討に値するが、7案も意見および検討せよでは言いようがない。概算工事費は基本計画が決定するまでは不明確である。併設案はこれでも破綻している。	基本計画（案）は、新校舎等の設計の前提となる整備方針や与条件を整理した上で、校舎の配置や規模、必要な諸室と配慮事項、概算事業費、整備スケジュール等の基本方針等を示す目的で策定するものですので、校舎の案については再編準備委員会で検討した7案をすべて掲載しています。	修正なし

46	53頁	イニシャルコストの検討と、1枚に建設費が載っているが、積算根拠がない。きちんとした積算根拠を出すべき。	イニシャルコストは現時点での学校建築費の水準を基に、各種統計資料から、推測した概算価格です。建設費については、今後も建設資材及び人件費等の上昇が見込まれ、予測困難な状況だと考えています。	修正なし
47		再編スタートする段階で、中学校の施設自体が施設になっておらず、他人に都度了解を得る必要がある様な中学校建設はやめてほしい。自前であれば、発生しない子供の心理的ストレス大と考えます。(グラウンド、体育館、勝高特別教棟、ジオアリーナ、敷地内の中庭等)	新中学校の教育環境については、いろいろとご意見をいただいておりますが、勝山高校の特別教棟や体育館の共用については、中高それぞれの授業時間数を考慮し、互いに支障なく使用できるとの見込みから計画を進めております。中学生と高校生が同じ空間で授業をすることはありません。また、県では勝山高校のリノベーションを行うと同っていますので、新中学校開校時には、中学生が使用するスペースはすべてリニューアルされている見込みです。ジオアリーナや長山グラウンドを含め、現在よりも良い教育環境となるよう考えています。	修正なし
48		勝山高校の敷地内に中学校を併設することに反対します。 1. もともと市の案は勝山高校の定員割れを解消するためだったのではないのでしょうか。それが、中学校再編計画として挙がってきたように思います。市立中学校と県立高校では設置者が違います。中学校は、義務教育で、いろいろな生徒がいます。中学校が一枚になると、生徒数が増え、今までより低学力の生徒が増え、先生方の負担が増えるのではないのでしょうか。今の中学校のほうが、行き届いた指導ができるのではないかと思います。中学校が一つになることによって、目標をもって勉強しようと思う生徒が、福井のほうの高校を希望するケースが増え、また、小学校卒業の時点で、市外に転居する家族も増えるのではないのでしょうか。その結果、勝山の人口も減少し、市の財政状況もマイナスになります。耐震工事も済んでいる三中学校を残すべきだと思います。	生徒数が減少すると、一人ひとりに応じた丁寧な教育ができる一方で、社会性や共同性など一定集団の中で切磋琢磨しながら身に付けさせていく資質能力の育成などに課題が生じます。中学生にバランスのよい教育を提供する観点から、今後も少子化が進行する勝山市においては、地元勝山高校と連携した教育を進めることが効果があると考えています。また、現在の3中学校を維持するには、近い将来、建て替えまたは長寿命化の改修が必要となります。	修正なし
49		2. 現在の3校で、生徒の数を考えると、まだ10年は、存続できると思います。 急ぐ必要はないと思います。3つのそれぞれの中学校が、特色を競って、切磋琢磨していて、学習意欲も高まり、今でも良い教育環境である。	3中学校の学級数は、令和9年度には現在よりも3学級減少し、北部中学校では令和8年度から1学級となる学年が生じることが見込まれています。現在の3中学校においては、これまで取り組んできた教育をさらに充実するとともに、中学校統合に向けて互いに連携・交流する活動などの機会を増やしていきたいと考えています。	修正なし
50		4. 現在の3校は、耐震工事がなされている。 わざわざ、不便な立地条件の所に建設して、税金を使う必要はないです。	耐震補強工事では校舎の耐用年数は長くなりません。鉄筋コンクリート造の校舎の法定耐用年数は50年程度ですが、50年経過後、建物がすぐに使用できなくなることはありません。しかしながら、適切な時期の近い将来、建替えまたは長寿命化改修が必要になると考えています。	修正なし
51		5. 高校生にも迷惑がかかることになる。 ☆グラウンドは狭くなる。サッカー部や野球部は、充分な広さのコートが取れなくなる。 ☆今でも、高校生だけでも、登校時、迎えの時間、高校周辺は車の混雑が起きている。 ☆高校では、今でも、テニスコートは十分でない。 女子だけが利用出来る。男子は水芭蕉に行っている。 そこに中学生のテニス部の場所がない。	グラウンドは狭くなりますが、サッカーコートや野球コートは現在と同様に確保できます。テニスコートに関しては市営テニスコートが改修されその利用も可能になります。高校周辺の車の混雑解消のためにスクールバスや送迎の車はジオアリーナの駐車場をと考えています。	修正なし
52		スクールバスに加えてオンデマンド型バスも利用すれば、時間ロスの少ない通学になるのではないかと思います。スクールバスの具体的な案を遠方の地区の生徒、保護者の方に早く提示し安心させてあげてください。また、下校時や長期休暇中のスクールバスは図書館や子ども会館でも乗降できるようになると中高生の活動範囲が広がりがいいのではないかと思います。	P T A 部会ではオンデマンド型バスの利用から検討をしましたが、一般の方の利用や定時路線バスのダイヤとの関係があり、現在は直行方式の検討もしています。次年度以降、通学の利便性・安全性向上の観点から引き続き検討するとともに、保護者等への周知を進めて参ります。	修正なし

53	<p>・建設をするということは、通学のための手段についても記載すべきと考えるが、スクールバスについてはなぜ触れていないのか？建設＝通学も見据えての計画だと思うが。</p> <p>・登下校の距離が伸びることになるが、それに対する対応方針等のお考えは記載がありましたでしょうか？統合計画にはセットで示してほしい。</p>	<p>基本計画（案）は、新校舎建設に係るものなので、スクールバスについては記載がありませんが、再編準備委員会においては検討を進めており、議事録等は市のHPでご覧いただけます。次年度以降、さらに検討を進め、内容の周知に努めて参ります。</p>	修正なし
54	<p>・多くの人が市の案に反対または凍結を希望しています。それを無視するのは民主主義的ではないと思います。市長は市民の意見を聞くべきだと思います。</p> <p>・[市・市議会・市教育委員会]と[市民]との間で、中学校再編して勝高敷地内への建設にはおおきな隔たりがあります。市民の多数がこの建設に不安を抱いており一旦建設の凍結を要望します。</p> <p>・どうか、1度立ち止まって、子供達のために再考してください。</p>	<p>小中学校のあり方については長年にわたって協議・検討を行うとともに、市民の方々から様々なご意見などをいただきながら、最終的に市立中学校再編計画の策定に到っています。今年度の説明会等では反対だけでなく賛成意見もいただいております。今後も、魅力ある新中学校となるよう引き続き検討を重ねるとともに、周知にも努めて参ります。</p>	修正なし
55	<p>令和4年度 勝山市の子ども子育て保護者説明会 の37頁によりますと、「勝山高校の特別教棟」は、県がリノベーションを計画しており、リニューアルされた教室で授業を実施」とありますが、これでは併設どころではなく、勝高に集約となってしまう義務教育の場とはなりません。リニューアルの概要・時期が明確になるまで、本基本計画は延期すべきであるとともに、中部縦貫自動車道（大野油坂道路）が2026（令和8）年春開通予定で、中京経済圏との交流が頻繁になり、地域の企業立地が促進され、鹿谷・荒土地区および猪野瀬地区などの発展を見届けるまで凍結したらいいのではないですか。</p>	<p>特別教棟の諸室は、教科によっては共用する教室がありますが、高校が使用する合間を縫って使用したり、高校と同時に使用したりすることはありません。新中学校にとってよりよい教育環境となるよう引き続き県との協議を進めて参ります。</p>	修正なし
56	<p>中学校と高校を併設することの、教育的なメリット、デメリットの整理は記載ありましたでしょうか？単なる併設で、例えば中高一貫校のような取り組みはないのでしょうか？</p>	<p>基本計画（案）では第1章において、新中学校の学校像や目指す教育、連携型中高一貫教育を生かした特色ある教育内容等について記載しています。これまでの説明会等ではデメリットを指摘するご意見もいただいておりますが、今後の再編準備委員会では、それらの心配を最小限にする検討を行って参ります。</p>	修正なし
57	<p>今回の説明の回答を含め、広く住民に情報提供して議論してほしいです。以前参加した説明会でも、質問に対して検討すると言って、その後どうなったのか、わかっていません。</p>	<p>市の広報や、市民説明会、保護者説明会などにおいて、情報の提供に心がけるとともに、市のHPでは再編準備委員会の議事録を公開し、検討の進捗状況を更新していますが、周知が十分でないというご指摘もいただいておりますので、周知の機会を増やすなど工夫をしていきたいと考えております。</p>	修正なし
58	<p>部活関係 ①部活の使用施設について、今回の建設基本計画に伏せられているが、第2回学校運営部会で検討された「資料8」を追加記載してパブリックコメント求めるべきではないですか？ ②グラウンドの課題有無や卓球が多目的ホール/成器西小体育館の使用について説明必要では？ ③部活関係で、部室や部活に使う道具類の保管場所はどの様にするのですか？</p>	<p>部活動については、国の地域移行の動きや少子化の進行に伴う現中学校の部活動のあり方など、不確定な面があり、関係部会ではそれらを踏まえながら検討している状況です。ご指摘の資料8についても検討例として示しているものですが、今後、関係部会において、使用場所や部室等の設置等について引き続き協議を進め、別途、お示しして参りたいと考えております。</p>	修正なし

59	<p>現在、勝山市では3中学を統合して勝山高校の敷地内に併設する方向で計画を進めています。反対の署名活動が8割を超えている地区もあり、市民の皆さんは不安を抱いている方が多数いらっしゃいます。私自身も大変心配しています。現在、福井県では「高志高校と高志中学」、お隣の石川県では「金沢錦が丘高校と錦が丘中学」が併設をしています。こちらは中高、ともに県立で、県内に在住する全ての子どもたちのうち、学力がハイレベル（高志）、一定のレベル（錦が丘）の子どもたちだけが「希望して受験できる中学校」です。</p> <p>高志中学校は県内から90名のみ募集し難関大学をめざします。高校と中学の6年間を一環した教育で更なる向上をめざし、教員と生徒がそれを理解したうえで学校生活を送っています。</p> <p>今回、勝山市が進めている計画は「勝山高校の定員割れの対策」を中学生に高校生の姿をまぢかで見せて、憧れをいだかせ勝山高校への入学を期待するといった内容がありますが、上記の併設とは全く異なる内容です。とても心配です。</p> <p>学力や運動能力がさまざま、まだまだ未発達で思春期を向かえようとしている勝山市の全ての中学生を高校の敷地内で生活させることは環境面でとても不安です。</p> <p>不登校の子どもが過去最高の数字になっている今、校舎から出るのに恐怖心を持ったり、ストレスを抱えこむ中学生が出ないか、いじめや不登校がますます増えないか慎重に検討してほしいと思います。一人でも不登校を増やしてはいけません。また進学や進路に集中したい高校生にとって多数の中学生の存在が負担になってストレスをためて学校が荒れないかとても心配です。いったん荒れた学校を元に戻すことは容易ではありません。子ども達にとって楽しい思い出づくりができる環境であってほしいと願います。</p> <p>各小学校での説明会が実施され、この計画に不安を抱いている一部の保護者の方が中心に参加された様子ですが、0歳から小学生の子どもさんが直接かわることなのに、父母の皆さんは経験が浅いためまだ、なかなか判断がつかない状態です。すべての対象になる保護者に内容をしっかり検証してもらい、理解してもらうことが必要不可欠です。</p>	<p>ご指摘の高志中学校・高等学校、金沢錦丘中学校・高等学校は併設型中高一貫教育校であり、勝山市の計画は連携型中高一貫教育校を導入するものですので、連携のタイプや仕組みが異なることをご理解いただきたいと存じます。また、新中学校が目指す教育は基本計画（案）に示しているとおりで勝山高校の定員割れ対策のためではないことを申し添えさせていただきます。一方で、統合することにより、いじめや不登校が増えるのではないかと心配する声もいただいています。子どもが安全安心に生き生きと学校生活を送ることができるよう配慮・対応することは当然のことです。ありますので、新中学校の開校に向けて現在の教育相談体制の充実や、子どもの自尊感情や自己肯定感をより向上させる取り組みなどを進めていきたいと考えております。1月から開催した保護者対象説明会では、一部反対の意見もございましたが、概ね前向きに受け止めていただくことができました。今後もさらに周知に努め、再編の趣旨をご理解いただくとともに、魅力的な教育内容等についてご意見をいただき、計画の推進に生かして参ります。</p>	修正なし
60	<p>提案 1学年の人数100人の場合 ・1校は3クラス 2校は4クラス 3校は3クラス ・部活動（1校—レギュラー等の機会が減る・3校—維持が困難）</p> <p>中学校生活での成長 安心して集中できる環境で学習能力の向上を目指し、いろいろな活動やイベントを通じ、失敗や成功することにより成長する。いろいろな事に出会って刺激を受け成長する。（クラス活動、生徒会活動、部活動、体育祭、文化祭、職場体験、他） リーダーを経験する機会・リーダーを支える経験により成長する。 中学生の体力・能力に適合した環境や機会を与え、自分達で考えて創り上げる経験をしてもらうこと。</p> <p>学校内の癒しの空間 ・休憩時間に中庭で日向ぼっこしたり、楽しみを感じる空間がこれまで以上に子供たちにとって大切なこと、そのためにも敷地に余裕が必要</p> <p>新型コロナの危険が継続する可能性 ・感染やクラスターの発生は高齢者がいる世帯に悲惨な影響がでる恐れもあるため、極力回避しなければならないので少人数化がもめられる時代</p>	<p>中学校の3年間は心身ともに大きく成長するとともに、社会性や共同性などを育む重要な時期と捉えています。そのためには、一人ひとりを大切にすきめの細かい教育を進めながら、一定集団の中で切磋琢磨する環境を提供していくことが大切と考えており、ご指摘のような経験や、学校生活空間などを充実するよう努めて参ります。</p>	修正なし

61		<p>これまで、説明会に参加できたことはないのですが、広報やHP、新聞等で情報は確認してきました。それを踏まえ、一市民、新中学に通う子を持つ親としての意見を投稿します。ご参考いただければ幸いです。</p> <p>私は今回の再編案に賛同しています。 理由①：キャリア教育に効果的だから 社会に出れば、様々な世代の方と接することになります。併設という環境で6学年分の年代で関わり合えるのは社会へ出た際に感じるギャップを埋める効果があるではないでしょうか。 今の社会は保育園から高校、大学、特別支援学校、そして大人の社会がそれぞれ分断されすぎているように感じます。この再編をきっかけに様々な世代や教育機関の融合が起きればと思います。 最終的に勝高への進学に至らなかったとしても、高校生活を身近に感じられる併設という環境は中学卒業後の進路や将来のキャリアをイメージしやすくなることにも繋がり、中学生にとって有益だと思います。</p> <p>理由②：習熟度別の授業を望むから 小規模校では先生の確保面やクラス分け時の人数の偏りを考えると習熟度別のクラス分けは難しいのではないかと思います。できれば、中1から始めて頂きたいです。生徒が多かろうが少なかろうが、勉強する生徒はやるし、しない生徒はしないでしょう。けれど、自分と同じぐらいの習熟度(成績の上位下位に限らず)のライバルがいればがんばれたり、勉強の意義を認識できるようになったりする生徒もいるはず。既存のクラスでの活動だけに囚われないクラス編成をお願いしたいです。 また、習熟度だけではなく、生徒の興味関心によって授業が選べるようなシステムも充実すると、学校生活がより魅力的になると思います。</p>	<p>今後、子どもたちに身に付けさせたい資質能力や少子化の進行を見据え、新中学校の学校像や目指す教育の検討を進めています。いただきましたご意見を参考として、一人ひとりを大切にすきめの細かい教育に配慮しながら、多様な人々と尊重し合い協働しながら社会性や共同性を育む教育や、確かな学力の育成を進めて参ります。</p>	修正なし
62		<p>その他要望、意見： 少人数クラスについて 少人数クラスを望む生徒がいれば、対応していただきたいです。生徒の希望や特性に合わせて柔軟にクラス移動ができると、心身の負担なく通学できると思います。</p>	<p>学級編成については、編成基準やそれに伴う教職員の定数基準もあり難しい面がありますが、授業によっては、例えば探究的な学習などで、クラスを解いて学習テーマごとにグループをつくるなど柔軟な編成が可能と考えており、今後の専門部会やワーキングチーム会議で検討して参ります。</p>	修正なし
63		<p>不登校生徒への対応について 不登校の生徒が学習の機会を失わないような対応をお願いします。登校前提ではなく、オンラインで授業が受けられる環境を整えたり、学校以外の居場所を市内のどこかに作ってあげたりして頂きたいです。</p>	<p>不登校をはじめ配慮や支援が必要な子どもについては、現在の小中学校においても一人ひとりに応じた対応に努めているところですが、引き続き、当該児童生徒や保護者のニーズに寄り添った支援をより充実するよう心がけるとともに、新中学校にもその体制をつないでいきたいと考えております。</p>	修正なし
64		<p>最後に 今回の再編案は他地域に同じような事例もほぼなく、計画通りに進まないことも多々出てくると思います。その際、「この統合は失敗だった！」と批判ばかりが集中するような状況にならないことを願います。「失敗したから終わり」ではなく、教員、生徒、保護者、地域の方が皆で共有し、改善案を前向きに考えられるような方向に向かってもらえたらいいなと思います。とくに、新しい中学校で教えられる先生方には大変なプレッシャーがかかってしまうと思います。市や教育委員会には、先生方に時間と心の余裕が持てるような対応をお願いしたいです。それは生徒への対応に直結するはず。以上のことから、勝山の未来を考えた時にいい再編案だと思っています。実務レベルで動かれている方々、開校し軌道に乗るまで本当に大変だとは思いますが、一市民、保護者として応援しています。</p>	<p>今回の基本計画が策定できましたら、令和5年度以降は、教育内容等の詳細な検討を行う予定です。これまでも準備委員会に設置したワーキングチーム会議で中高の先生方による検討・協議を行ったり、中高の生徒会の役員と語る会を開催したりするなど取り組んで参りましたが、今後は、さらに広く教職員や生徒の意見も聞きながら進めていきたいと考えております。現在の学校教育の枠組みをベースとしながら、学校現場の共通理解を深め、先生方が取り組みたい教育、生徒が望む教育活動を検討して参ります。</p>	修正なし

65		<p>・前回パブリックコメントでは、それによる修正は2%程度（38意見中1件）であり、検討しますといったコメントすらはばありませんでした。勝山市政への参加は無意味といったメッセージを強く発信しておられるか、市としては取るに足らない意見ばかりであったのだと思われます。</p> <p>真面目に意見すれば聞いてもらえる、市政に参加すれば自分たちでも何かよりよくすることができると思われられることで市民を街づくりに巻き込むことができ街を生き活きたものにするのではないのでしょうか。</p> <p>今回の中学校再編に関しても、校区毎に保護者会や検討委員会で検討する場を持ち、3校維持するとどんなメリットやデメリットがあって、そのためには何が必要で、じゃあそれが難しうなら子供にはどんなことを学んでほしいから、どんな場所でどんな中学校を建てて、それには何年後が適正でといったことを、より多くの市民を巻き込んで考えてもらう必要があります。そうして新中学校は自分たちの中学校になり、市民として責任も持ち、協力をしていくことができるのだと思います。</p> <p>どのような中学校になるとしても、当然、予測できない結果や失敗も生まれるものとは思いますが、場合によっては事故、トラブルも起こるものと思いますが、今回は市民に考えさせ決めさせるプロセスが無いので、その責任は市民としては受け入れがたいものとなり、計画を押し進めた市長、市議会、市教育委員会の責任が強く問われることになると考えます。</p> <p>将来の希望である子供たちに、よりよい中学校の計画を創ってあげるため、どうか、やる気のある市民のエネルギーをポジティブな方向へ使わせていただけることを切に願いますし、以前の市長、教育長と違い、今の市長、教育長にはそれができるアイデアを持っておられると考えております。</p> <p>・去年の反対記者会見以降、この1年間市民の動向みているが行政と議会と市民この三者間まだまだ勝山高校敷地内建設の是非協議未完と感じています。中学再編について昔から話し合いが行われていることは承知していますが勝山高校敷地内建設についてはこの数年のことです。賛成と反対との討論会実施等建設的なお話を開催しながら街全体気運高めしていくやり方をとっていただけないでしょうか。よろしく願います。</p>	<p>3中学校を統合し、新校舎を勝山高校の敷地内に建設して中高連携を進めることを柱とする市立中学校再編計画は、長年の検討や協議を踏まえ策定しましたので、この方向性を見直すことはありません。ただし、今年度設置した再編準備委員会では、再編計画を骨子としつつも、少子化の進行を踏まえ、勝山の子どもにとってどういう教育を行っていくことが望ましいかとの観点から、教育内容や施設整備の検討の中で様々なご意見を踏まえ、修正も行いながら具体化を進めて参りました。夏の市民説明会では反対される方が多数参加され、勝山の教育の方向性について十分な意見交換ができなかったと反省をしておりますが、1月から開催した保護者対象説明会では、再編計画の方向性について概ねご理解をいただき、今後の検討の参考となるご意見もいただくことができたこと受け止めております。今後も引き続き、検討内容など情報の周知に努め、広くご意見やご提案をいただきながら中学生をはじめとする勝山の子どもの成長を支援できるよう建設的な協議を進めて参りたいと考えております。</p>	修正なし
66		<p>憲法には、教育を受ける権利の保障について、ひとしく教育を受けることを前提にしているが、①通学距離、②通学方法、③通学時間を考えると個人差がある。（6年間を考えると）交通事故が増えることも考えられる。長山には熊も出る。CO2も増える（カーボンニュートラル？）</p> <p>教育基本法には、不当な支配に対して屈することなく国民全体に対して直接責任をおいとあるが、着工の2024年では、市長選挙前であり、結果次第で「工事が中止」になることも考えられる。血税であることも考えてほしい。（住民投票もある）</p> <p>何より「議会での話し合い（本当に市民の声か?）」が不十分であり市民（県民・国民）の中に納得できない人がいることを無視していないか?民主主義は多数決がすべてではない。特に子ども達の声が全然ない。全国の子ども達の中には今の学校が好きで自殺した子もいる。単に「同調する子」が多いので問題である。全員アンケートもある。「心の声」を聞いてほしい。中学生（高校生）と本気で向き合ってほしい。金のために殺された生徒を忘れていないか?真を問い、人民の人民による人民のための政治（リンカーン）をしてほしい。血税なのに魂の話し合いがない。「教合わせ、費用対効果、法的支配」を超えてほしい。</p> <p>◎結果は仕方ないが、「人間であること」「教育は人なり」の証明」が不足している。マネーゲームではない。</p>	<p>小中学校のあり方については、子どもによりよい教育環境を提供していくために長年にわたって協議・検討を重ね、市民の方々から様々なご意見などをいただきながら、最終的に市立中学校再編計画の策定に到っています。この重みを踏まえ、引き続き再編計画を進めて参りますが、今後の検討においても、市議会でご審議いただくとともに、市民への周知や、生徒・保護者に意見を聞く機会を設け、新中学校の教育がより魅力的なものとなるよう努めて参りたいと考えております。</p>	修正なし

67		<p>(意見・提言等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個人の尊厳→個人の価値→自主的精神 ●メンタル力=学力 ●考え方<言葉>→行動→習慣<人格> という考え方があ。 (すべてではない) <p style="text-align: center;">↑ 学校</p> <p>●今の学校と新しい学校</p> <p>Q1. どちらがいいのか?</p> <p>Q2. <u>その理由</u> ⇔ 本当に心身ともに健康なものなのか (交通事故、トンネル、熊、通学、中1ギャップ、発達障害、いじめ、不登校)</p> <p style="text-align: center;">↓ 将来の勝山=本当に「人格の完成」を目指すものなのか?</p> <p>表面的には「子ども達のため：だが、本質的には「議会の話し合いによる勝山の政治のあり方」の反省ではないのか? =ふざけないでほしい (いつまでも)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●血税=人民の人民による人民のための政治 (リンカーン) ・今頭脳流出が問題なのに、さらに人の減少を加速させるのではないのか? ・廃校や休校はよく考えないとマネーゲームになる。 不登校の子もいる (人格の完成) ・学校ではなく、子ども達の姿 (成長) が大切である。 ・本当に苗ちゃんのように「ふるさとを大切に考えることのできる子」に成長させることができるのか? ・平泉寺小学校の数を見てよく考えてほしい。 ・児童の実態を考えない、教師主導の授業 (プログラム学習) はやめてほしい。 ・本当に子ども達一人一人の目線にたった授業のできる学校にしてほしい。 ・もっと議会で真剣に考えてほしい。 子ども達主体の学校=人民の人民による人民のための政治 (リンカーン) ・永平寺のようにえち鉄はない=冬、大丈夫なのか。 	<p>今後の学校教育においては、子どもを主語とする学校づくりを通して、生徒の主体性を育むことが求められています。現在、各小中学校においては、子どもに身に付けさせたい資質能力の育成を目指し、様々な教育課題にも対応しながら研究・実践を進めていますが、これらの取組みを新中学校の教育にも結びつけていきたいと考えています。</p>	修正なし
68		<p>2. 幼児教育は大切です。幼稚園・保育園を廃園にして、その費用を中学校建設費に充てるのでしょうか。小中学校のプールを廃止すると新聞で知りました。その費用も中学校建設費に充てるのですか。子供たちを置き去りにして市の案を通すつもりですか。</p>	<p>市立幼稚園・保育園の廃園や小中学校のプール学習を市営温水プールで実施することは、新中学校の建設費に充てるために検討したものではありません。</p>	修正なし
69		<p>3. 昨年神戸から来た知人が、「勝山はいいところですね。空気はいいし、自然が豊かで、九頭竜川で釣りをしている人もいました。」と言いました。勝山は子育てにいいところです。都会から移住者が住みやすいように、工場でも、事業所でも誘致することを市のほうで考えられるといいのではないのでしょうか。人口も子供も増えるのを期待できるのではないのでしょうか。人口・子供が減少するのを待っているのではなく、前向きに市が発展する方向に発想の転換を考えるのが市のやるべきことではないのでしょうか。</p>	<p>市として人口減少対策には引き続き取り組んで参ります。一方で、少子化の進行により出生数が昨年度は年間109人にまで減少しており、少子化の中で勝山の子どもたちによりよい教育環境を構築していくことが必要と考え、中学校については再編計画を進めているところです。</p>	修正なし
70		<p>1 はじめに</p> <p>世界情勢が混沌としており、ロシアのウクライナ侵攻により、世界を巻き込んだ戦争になりかねないような事態となっています。しかし、それでもウクライナでは、地下で子供たちの教育を進めていると報道されています。建物が破壊されても、国を創っていくのは「子供たち」だからです。教育は大切な力です。勝山市の未来を築いていくのも子供たちで、地域を支え、活性化させるのも子供たちを育成する教育の力です。小さい勝山市においては、一人一人を大切に教育が何より求められています。</p> <p>今、トルコ・シリアでは、大地震に見舞われ、1万人以上の人々が亡くなっていると、報道されています。いつ、どここの国、どここの地域においてもそういう状況が起こりかねない中で、大切な中学生、高校生たちを一か所に集め、身動き出来ないような状況で教育することは、全く不安でしかありません。</p>	<p>悲惨な戦争や大災害のほか、社会や経済が急激に変化し予測不可能といわれる時代において、子どもたちにどのような教育を提供していくことが望ましいかとの観点で少子化が進む勝山の教育のあり方を協議しております。一人ひとりに応じたきめの細かい教育を大切にするとともに、中学生にとっては一定集団の中で社会性や共同性などを育むことも同様に重要なことであると考えております。</p>	修正なし

71		<p>2 中学校を1つにして、勝山高校敷地内に新中学校を建設することに反対です。</p> <p>①狭い敷地内に無理な校舎建築は、すべきではありません。お互いの活動量が著しく制限されるとともに、絶えず圧迫感を与えることとなります。</p> <p>②前述の自然災害に加えて、熊の出没の多い場所であり、コロナ等の感染症予防に関しても、中・高生を守ることが厳しい状況になります。事が起こると、大勢が右往左往することになりかねません。</p> <p>③スクールバスを運行するという計画だそうですが、具体的な案は1つも示されていません。</p> <p>結局、親や保護者の送迎を期待しているのでしょうか。高校生の送迎だけでも混雑するのにも、それ以上の数の中学生の送迎により、辺りは渋滞します。交通事故が多発します。そして、地下通路は不要です。</p> <p>④中・高校生が入り混じる学習環境では、お互いの学力はむしろ低下するでしょう。</p> <p>連携というのは、あこがれがあって、たまに一緒に物事をするので値打ちがあるものです。近くに一緒にいることが、よい連携ではありません。</p> <p>⑤このままで、この再編をすることは問題だらけで、結局は当事者となった中学校・高校が多くの問題を抱えたままで、学校運営することになります。そしてむしろ、勝山市の中・高校生が減ることが予想されます。</p>	<p>①かつて約1000人が在籍していた勝山高校の敷地に加え、ジオアリーナや長山グラウンドを活用しますので、狭い敷地に無理に校舎を建設するものではありません。</p> <p>②安全安心の確保は最優先の課題であると認識しており、そのために必要な環境の整備に努めて参ります。</p> <p>③スクールバスは基本計画(案)には記載していませんがPTA部会で直行方式など検討しており、議事録等はHPで公開しています。スクールバスの利便性を向上し、安全性の面からジオアリーナを発着場とし、保護者送迎は減らしていきたいと考えています。</p> <p>④中高の授業はそれぞれで行うことが基本で、教育効果がより向上する活動を連携していきます。先行して実施している連携型中高一貫校において、これまで工夫ある連携を通して成果を上げており、近接する環境でさらに高い教育効果を目指しています。</p> <p>⑤再編準備委員会では、これまでいただいたご意見などを踏まえ、課題等が最小限になるよう検討を進めております。中学生がたくましく成長する魅力ある学校となるよう今後ご意見やアイデアををいただきながら検討して参ります。</p>	修正なし
72		<p>3 公立幼稚園、保育園を廃園にすることに反対です。</p> <p>たった1つ残った貴重な幼稚園をなぜ廃園にするのでしょうか。もう幼稚園という文化が消滅してしまいます。また僻地であって、今まで行政が大切にしてきた公立保育園の2園を廃園にすることは、地域をないがしろにするものです。便利の悪い野向や平泉寺地区を大切に守ってきたはずなのに、園児が少ない、効率が悪いということで、保育園を失くすことは、一人一人に寄り添う保育とは言えません。</p> <p>今、全国的に起こっている園児への虐待、バスへの取り残し事件など痛ましい事件の多くは、多数の園児を抱えるストレスの多い園で起こっていることです。丁寧に一人、ひとりに寄り添う勝山の公立保育園の保育は、どこに見せても恥ずかしくない素晴らしい保育環境です。</p> <p>おおらかに、のどかに素晴らしい保育環境で育つ園児達の未来は、明るいです。すくすく育てれば、勝山が大好きなよい子が育ちます。園は、豊かな人間形成に大切な場なのです。</p>	<p>ご意見として伺いますが、この基本計画(案)に対するものではないので、回答は控えさせていただきます。</p>	修正なし
73		<p>4 小学校のプールを廃止することに反対です。子供会館や中央公園の整備費用を削って、学校のプールの整備をしてください。</p> <p>中学生は、ある程度泳ぐ力がついています。それは、小学校できちんと指導してきたからです。山に囲まれた勝山市で、川で泳いでは危険となれば、プールしかありません。中学生が部活で忙しくて、プールで泳ぐ暇がない。余り活用されていないというのは、理解できます。しかし、小学校は違います。小学生は、全く泳げない子、少ししか泳げない子、スイミングに行っていてスイスイ泳げる子、いろいろな子供たちの状況や状態に合わせて、学年に応じて指導しているのです。</p> <p>授業時間では、全く上達できない子には、個別で指導しています。夏休みに、まとめて指導することもあります。水泳は、命を守るための大切な能力の一つです。画一的にまとめて、少ない時間で身に付けられるものではありません。公教育がそれを放棄すると、結局、親がスイミングに入れることになり、ますます負担が増加します。</p>	<p>ご意見として伺いますが、本基本計画(案)に対するものではないので、回答は控えさせていただきます。</p>	修正なし
74		<p>5 おわりに</p> <p>限られた勝山市の予算の中で、教育委員会の皆さんが日々努力して下さっていることに敬意を表しています。しかし、大事なことは「民意を反映する」「教育にお金をかける」ことではないでしょうか。</p> <p>勝山市の子供たちがのびのびと学習や活動をして、「勝山に生まれて、育って本当によかった」と言えるような教育環境の充実に向けて、何卒ご尽力くださいますよう、よろしくお願いいたします。</p>	<p>再編準備委員会においては、ご指摘のような教育環境の充実に向けて検討を進めているところでありますので、引き続き、様々なご意見をいただきながら、勝山の子どもによりよい教育が提供できるよう努めて参ります。</p>	修正なし
75		<p>市長が2月9日にあげたSNSに、一緒に写っていた方のSNSで、この再編は昨年の3月に決定していると言われたとの記載があった。</p> <p>市長みずから、決定したと言っているものに何故パブリックコメントを募集するのが分からない。</p>	<p>昨年の3月に決定したのは勝山市立中学校再編計画であり、今回パブリックコメントを募集しているのは、再編計画に基づいて策定している勝山市立中学校建設基本計画(案)ですのでご理解いただきますようお願いいたします。</p>	修正なし

以下の意見は、今回募集した「勝山市立中学校建設基本計画（案）」に対するものではなく、令和4年3月に策定した「勝山市立中学校再編計画」について、策定の検討段階における修正案に対するコメントとして寄せられたものです。中学校再編に関するご意見ですので参考として掲載させていただきますが、市の考え方（回答）は最初の欄のみ掲載させていただきます。なお、掲載の都合上、趣旨を損なわない範囲で一部を省略させていただきました。

	<p>「勝山市の小中学校の望ましいあり方検討委員会」の解釈について ～本当に20年ほど時間をかけて中学校問題に取り組んできたのか～ 本計画でもこの「あり方委員会」で中学校の統廃合問題が始まったとしています。しかし、実際にはこのあり方委員会、中学校の統廃合を論じたものではありません。20年前から、長い時間をかけて議論を重ねてきたというのは、信じられません。そして、多くの市民が現計画に疑問を持っている今、もう少し時間をかけて勝山の将来を担う子ども達のために、この問題について考えてみたいというのが私の意見であります。</p>	<p>今回、勝山市立中学校再編計画（修正案）に対するコメントをいただきましたが、本計画の策定後、令和4年度から再編準備委員会を設置し、勝山市立中学校建設基本計画の策定をはじめ、新中学校の開校に向けて検討を進めています。併せて、市民説明会、中高の教職員への説明、中高の生徒会役員と語る会、保護者対象説明会などを開催し、いただいたご意見等を踏まえ、今後も引き続き魅力ある中学校としていきたいと考えておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。</p>	
	<p>2 教職員の意見が尊重されているのか ～小学校・中学校・高等学校の意見が取り上げられているのか～ 私は、この問題についてずいぶん多くの方々へ向うき、話を伺いました。中高の校長はもちろんのこと、小中高の一般教職員、そして市外の教職員、小中学生、市会議員、市役所関係者、一般市民の方々等々です。（中略）特に、教職員にあっては、最初は色々意見を言って下さいましたが、そのうちに何かに恐れているように、口をつぐむか、思考停止の方が多かったように思われます。校長も同様です。「全く、シミュレーションがなされていない」、「勝高の敷地で再編した場合、どうしたらよくなるのか」というような勝高併設前提でしか意見が述べられないと率直に話しておられました。教育に携わる人間なら、本気で話せばいろんな意見がでるはずですが、今回の再編に関しては、むしろ強行するためには、できるだけ意見を言わせないおこうというような姿勢を感じます。現場の教職員からもそのような素直な声でありました。（中略）先ず、義務制教職員の声を真摯に受け止め、情報を取捨選択するのではなく、集約した意見の全てを掲載していただきたかったと思います。なお、勝山高校の教員の意見も同様にホームページに掲載されていますが、同校教員によれば、あるとき初めて市から教育長が来て、30分ほど再編について一方的に説明したそうです。そして、話の後、教職員に意見を求め、一部の教員が発言したものが、勝山高校の教職員の意見として掲載されたものだそうです。それまでは、一般教員に対しては、一切、勝山高校での併設などについての説明はなく、新聞で断片的に知らされているだけだと憤慨しておられました。高校教員が傍観している問題ではなく、常に一緒に歩むべき問題であったと考えています。また、勝山高校の定員割れや活性化、魅力化について市議会でも議論されたこの時期に、校長は、1年毎（ここ5年間）に転勤しているなど、現場教職員を置き去りにした中高併設は大いに問題があると感じています。こうした観点からも再編は少なくも、後1年はじっくり考えて取り組むべきだと考えています。そうでなければ、将来に禍根を残すこと間違いなしだと私は確信しています。正当な手続きを踏んでの計画なら、多少上手くいかなくても、誰もが納得するでしょうが、今のような義務制教職員並びに高校教職員の意見を軽視した勝高併設前提の中学校再編は、勝山市の汚点になるのではないのでしょうか。 Q22 市内小中学校の先生は、皆さんが再編計画案に反対しているのではないかと。 A22 再編計画を策定するにあたり学校の教職員の皆さんからは、率直な意見をいただきました。その中で、計画案に反対の意見も一部ありましたが、多くは計画を進めていく上での課題の指摘や提案であると認識しています。今年度設置した再編準備委員会において、先生方にはワーキングチームのメンバーとして、学校現場の現状を踏まえた意見等を出していただきながら協議を進めています。市内の教職員に対し説明会も開催しており、今後も計画の推進に向けて様々なご意見をいただきたいと考えています。（令和4年8月18日勝山市HP）見解の相違になるかと思いますが、上記のQ&Aの回答に違和感を感じるのは私だけではないと思っています。</p>		
	<p>3 高校の魅力化向上のために中学校を敷地内に併設すべきか ～高校の魅力化・活性化は高校自身の問題～ 勝山高校の非常に大変な時期、平成29年度から平成33年度までの5年間、様々なことが議会で話され、現在の勝高併設が決まってしまったのですが、同時に、この時期、勝山高校の校長は1年毎に交代しています。一般教員が、再編の中身を知ることなどできるはずがなかったのではないのでしょうか。一般教員には、ほとんど相談されることもなく、また議論されることもなく、勝高の敷地の中に勝山唯一の中学校が建設されることになったのです。この間のいきさつを見ていますと、勝山高校は、県立高校であると言うよりも、市立高校のごとき様相を呈しています。かつて20年あまり勝山高校に勤務した私には、耐えられない状況であります。また、高校の定員割れや活性化、魅力化をこのように市議会で議論されていたかと思うと、残念でなりません。改めて、勝山高校の魅力化や活性化は中学校を勝山高校の敷地の中に建設することによって達成させるのかをお尋ねしたいと思います。</p>		

	<p>4 勝高敷地内に中学校を建設することを未来の子ども達に恥じないか ～ジオアリーナと長山グラウンドがそんなに魅力的か～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登下校は？地下通路は？雨・雪の日は？送迎の車はジオアリーナ！ ○ 日々の登下校はどうなるでしょうか？玄関はどこ？校門はどこ？ ○ 部活動はどうでしょうか？選択肢を増やせるでしょうか？ ・ 長山で中学校の屋外競技ができる？ ・ 中学校はジオアリーナの半分のみ使用！ ○ 中学校の特別室は勝高校舎内！中高の生徒と先生がいつも顔を合わせるのって？ <p>勝山高校の周囲を見たとき、勝山の中学校を建設する適地に見えますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ せっかくの新設校舎ですが、玄関が定まらないのは致命的。ああでもない、こうでもない、いずれも「帯に短し、たすきに長し」でいかんともしがたい。 ・ 広々とした田舎にいながら、さながら都会に住んでいるかのごとく、バスや送迎の車を降りたら、4. 6mもある地下通路の階段を降りなければなりません。土足帯は地下通路の半分しかありませんから、中学生がひめき合って歩かなければなりません。急ぎたくても前が詰まっていれば上履き帯を土足で歩くしか方法はないかもしれません。 ・ 中学生が混じって歩く状態を「コミュニケーションが取れる」と発言していることが、準備委員会の記録にはありましたが、そう感じる生徒がいる一方で、そう感じない、恐怖を感じる生徒もいるだろうと思われま <p>す。(高校女子談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨天時や積雪時、保護者の送迎により、濡れた傘を持ったり、濡れた下足で地下通路をいきなり下る場合には非常に危険な状態になることが予想されます。 ・ L型の地下通路は先が見えず、不審者による危険も伴い、十分な安全対策が求められます。これまで長山入り口まで送迎が許された高校生にとっては、ジオアリーナまで行かなければならないとなると、かなり負担になりそうです。これらが守られることを願うばかりですが、指導は大変でしょう。 ・ 保護者会などの場合には、駐車場の確保が問題になりそうです。これもジオアリーナとなりますと、これまでの学校とは、かなり不便になりそうです。 ・ 再び以前のように、教職員の利便性を優先して、生徒の利便性を後回しにしてもいいのでしょうか？ ・ 校門前は、徒歩通学の生徒、自転車通学の生徒、そして、高校教職員の車、中学校教職員の車が行き交い、混雑が予想され、安全性にも問題があるのではないのでしょうか。 		
	<p>5 全てに於いてシュミレーションがなされていない ～事前の調査やシュミレーションが不足していないか～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 登下校方法に関する調査 2. ジョアリーナ交差点の交通状況（午前7時～午前8時頃） 3. 登校・下校のバスの運行 4. 教室からジオアリーナへの生徒の移動 5. 中学校の教育活動が保証されるか？ 		
	<p>6 その他 ～勝高併設から派生する問題はないのか～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一部教師の移動か、多数の生徒の移動か ・ 高校教師が中学生の前に立つのは、そんなに回数が多くないのですから、むしろ、車を持つごく一部の教員が移動すれば済む話ではないでしょうか。 2. 公立中学校と県立高校の併設の前例は？ ・ 中学生の進路は多様であり、しかも義務制であるために普通科高校との併設は本来メリットが少なく、全国ではどこも実施していないというのが実情ではないかと推察しています。 3. 併設により勝山高校の魅力を失わないか？ ・ 離れてこそ、自分が選んだ高校と言えるのではないのでしょうか。 4. 再編中学校を卒業して市外の校校へ進学した生徒 ・ 新中学校を卒業して市外へ進学した生徒達は、この学校を母校と思うだろうか？ 5. 最後に <p>現計画案に賛成・反対ではなく、少なくとも、もう一年時間をかけてこの問題に取り組んでいただきたい。そんな想いで失礼をも顧みず、今の気持ちを書かせていただきました。</p>		